




## ■オオスズメバチ

	体長	女王蜂 40～45mm 働き蜂 27～40mm
	生息地	北海道、本州、四国、九州、沖縄本島
	営巣場所 巣の形状	地中や樹木の空洞など、閉鎖した環境に巣を作るため、巣の位置がを見つけにくい。地中に営巣した場合、巣穴を広げるために土を外に運び出す為、巣の前に土の塊が体積しています。
	特徴	スズメバチ科の中では世界最大種になります。 スズメバチの中でも <b>威嚇性、攻撃性、毒性が非常に強く</b> 、巣が地中など、見つけにくい箇所にあることから、駆除の際も専門的な経験を必要とするため、個人での駆除は絶対に行わず、専門の駆除業者に依頼してください。


## ■キイロスズメバチ

	体長	女王蜂 25～28mm, 働き蜂 17～24mm
	生息地	本州・四国・九州
	営巣場所 巣の形状	軒下、木の枝などの開放的な箇所から、天井裏、床下、樹の空洞などの閉鎖的な箇所まで、多岐にわたります。巣の形は球状で、大きくなるにつれ、楕円形になっていきます。 <b>都市環境に適応</b>
	特徴	日本のスズメバチのなかでは、最小のサイズですが、巣の大きさは最大規模となり、大きな巣では 700～1000 頭の規模になるものもあります。 また、攻撃性、威嚇性ともに強く、巣に近づいただけで攻撃を受けることもあるため、注意が必要です。 都市環境にも適応し、市街地などでも見かけられるため、目にする機会の多いスズメバチです。


## ■コガタスズメバチ

	体長	女王バチ 25～30mm, 働きバチ 22～28mm
	生息地	北海道, 本州, 四国, 九州, から沖縄本島
	営巣場所 巣の形状	人家の軒下や庭木の枝などの開放的な箇所に巣を作ります。フラスコを逆さにしたような巣の形が特徴的ですが、働き蜂が羽化するにつれて、巣の入口が削られて球状になっていきます。巣の規模は比較的小さく、ピーク時の働き蜂の数でも 200～300 匹程度です。 <b>都市環境に適応</b>
	特徴	営巣場所や、幅広い食性から都市部の環境にも適応したスズメバチです。 攻撃性、威嚇性はスズメバチの中では弱いため、むやみに巣を刺激しなければ近づいてもおとなしいのですが、巣を刺激した場合は激しく攻撃してきます。 キイロスズメバチと合わせて、都市部でも見る機会の多いスズメバチです。


## ■モンスズメバチ

	体長	女王バチ 28～30mm, 働きバチ 21～28mm
	生息地	北海道・本州・四国・九州
	営巣場所 巣の形状	巣が小さいうちは地表近くの閉鎖環境に巣を作るが、働き蜂の羽化後、巣が狭くなると大木の空洞や天井裏、壁の隙間などの広いスペースの閉鎖環境に引越しをします。 巣は釣り鐘のような形をしており、外側から巣の中身が露出していることもあります。
	特徴	他のスズメバチと違い、働き蜂は夜間でも活動を行います。 巣に対する防衛力が強く、巣に近づくと多数の働き蜂がまとわり付くように飛び回り、警戒を行います。セミ、トンボなどの大型の昆虫を好んで食べるため、自然の豊かな環境でないと生活できません。

## ■ヒメスズメバチ

	体長	25～36mm
	生息地	本州・四国・九州
	営巣場所 巣の形状	閉鎖的な環境に巣をつくり、きのこの笠のような形状の巣をつくり、巣の中身がはみ出して見えるのが特徴です。 国内のスズメバチ属において、最も巣の規模は小さく、他の蜂に比べても一つの巣の中の蜂の数も少ないです。
	特徴	威嚇性が強く、大あごを鳴らしてまとわりつくような警戒行動を取りますが、実際に攻撃することはあまり無い、比較のおとなしい種類の蜂です。他のハチとの大きな違いとして、腹部の先(尻の部分)が黒いため、見分けるのは比較的容易です。(他のスズメバチの腹部の先は黄色)餌としてアシナガバチを専食し、その他にクヌギ等の樹液にも集まってきます。

## ■チャイロスズメバチ

	体長	女王蜂、約 30mm 働き蜂、約 22mm
	生息地	北海道から本州中部までとされているが、個体数が少なく、生息地も限られていると思われる。
	営巣場所 巣の形状	※特徴にて説明 巣の大きさに大きなばらつきがみられる。
	特徴	モンスズメバチ、キイロスズメバチの巣に侵入し、その女王蜂を殺して巣を乗っ取る、社会寄生性の蜂です。他のスズメバチに比べて、頭、胸、が赤茶色、お腹がこげ茶色をしているため、比較しやすい。巣の大きさにかなりのばらつきがあり、小さいものでは 30 匹程度のコロニーに対して、大きい巣では 700 匹近くの働き蜂がいる場合もある。